

令和5年4月28日

新潟市議会議長 古泉 幸一 様

会 派 名 新潟市公明党

代 表 者 名 小 山 進

経 理 責 任 者 名 松 下 和 子

令和4年度政務活動費収支報告書

新潟市議会政務活動費の交付に関する条例第9条に基づき、令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 (単位 円)

	金 額	備 考
政務活動費	1,440,000	@30,000×4人×12月

2 支 出 (単位 円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	329,318	別紙のとおり
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	329,318	

3 残 額 1,110,682円

支出伝票一覧表

会派名	新潟市公明党			
支出年度	令和4年度	支出項目	調査研究費	NO. 1
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額(円)	備考
1	R4.8.8	阪急観光リムジンバス代	4,280	伊丹空港～神戸三宮駅 1人1070円 4人分4280円
2	R4.8.8	高速神姫バス・ハーバーライナー代	12,240	神戸三宮駅～徳島駅前 1人3060円 4人分12240円
3	R4.8.8	視察先お土産代	3,240	伊丹空港 神戸三宮駅 伊丹空港 徳島駅前 伊丹空港 伊丹空港 伊丹空港 伊丹空港 伊丹空港 伊丹空港
4	R4.8.9	徳島県名西郡神山町 行政視察研修費	24,750	
5	R4.8.9	レンタカー ガソリン代	499	徳島駅前～徳島県名西郡神山町 往復代
6	R4.8.10	岡電バス代	480	岡山駅～山陽新聞社前 1人120円 4人分480円
7	R4.8.10	岡電バス代	480	山陽新聞社前～岡山駅 1人120円 4人分480円
8	R4.8.26	行政視察(神戸市・徳島県名西郡神山町・岡山市)・交通費・宿泊費等	281,815	281540+275(振込手数料)=281815
9	R5.3.16	コピー機使用料	1,317	
10	R5.4.20	コピー機使用料	217	
		小計	329,318	
		合計	329,318	

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党														
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	1												
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費														
実施年月日	令和4年8月8日														
支出年月日	令和4年8月8日														
支 出 金 額	4,280 円														
支 出 先	阪急観光バス(株)														
使 途 内 容	阪急観光リムジンバス代														
備 考	伊丹空港～神戸三宮駅 1人1070円 4人分4280円														
領収書貼付欄		(調査研究費)													
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em; margin: 0;">領 収 書</p> <p style="text-align: right; font-size: 1.2em; margin: 0;">様</p> <p style="margin: 5px 0;">2022年08月08日 ご利用時刻 11:20 取引内容 乗車券購入 購入金額 ¥4,280</p> <p style="margin: 5px 0;">領収書番号 039598</p> <p style="margin: 5px 0;">上記金額正に領収致しました。 ご利用ありがとうございます。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <tr> <td style="font-size: 0.8em;">ご購入明細</td> <td style="text-align: right; font-size: 0.8em;">枚数</td> <td style="text-align: right; font-size: 0.8em;">金額</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 0.8em;">品名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: 0.8em;">神戸三宮駅</td> <td style="text-align: right; font-size: 0.8em;">4</td> <td style="text-align: right; font-size: 0.8em;">4280</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px dashed black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px dashed black; font-size: 0.8em;">4280</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin: 5px 0;">阪急観光バス株式会社</p> <p style="margin: 5px 0;">大阪空港 02</p> </div>				ご購入明細	枚数	金額	品名			神戸三宮駅	4	4280	合計		4280
ご購入明細	枚数	金額													
品名															
神戸三宮駅	4	4280													
合計		4280													

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

- 1、日程 2022年8月8日(月)～10日(水)
- 2、視察項目(視察先)
 - ①三宮駅周辺地区の再整備事業(神戸市)
 - ②創造的過疎レクチャーとサテライトオフィスツアー(神山町・NPOグリーンバレー)
 - ③文化芸術の推進・文化芸術ビジョン(岡山市)
- 3、参加者 公明党新潟市議団 4名
 - ① 佐藤 誠(さとう まこと)
 - ② 小山 進(こやますすむ)
 - ③ 松下和子(まつした かずこ)
 - ④ 志賀泰雄(しが やすお)
- 4、日程

8/8(月)	9:00 新潟空港集合 9:40 新潟空港発(ANA3172便) 10:50 伊丹空港着 11:15 伊丹空港発(リムジンバス・神戸三宮駅行) 11:55 神戸三宮駅着、昼食、徒歩で視察先へ移動 13:30 視察①<三宮駅周辺地区の再整備事業 都心三宮再整備課 上野様 (三宮ビル東館6F 神戸市中央区御幸通6-1-12)> 座学後、徒歩にて現地視察 一切終了後、ホテルへ徒歩で移動 17:00 ホテル「神戸ルミナスホテル三宮(☎078-331-7701)」着、夕食
8/9(火)	8:30 ホテル発 8:50 三ノ宮駅前発(高速神姫バス・ハーバーライナー・徳島駅前行) 10:56 徳島駅到着 11:30 徳島駅前発(レンタカー) 12:30 神山町着、昼食 13:30 視察②<創造的過疎レクチャーとサテライトオフィスツアー (神山町農村環境改善センター)> 16:00 終了、レンタカーにて移動 17:00 徳島駅着、ホテルへ移動 17:30 ホテル「ホテルサンルート徳島(☎088-653-8111)」着、夕食
8/10(水)	9:00 ホテル発、徳島駅へ徒歩で移動 9:23 徳島駅発(JR特急うずしお・高松行) 10:30 高松駅着 10:40 高松駅発(JR快速マリンライナー・岡山行) 11:33 岡山駅着、昼食、バスで視察先へ移動 13:30 視察③<文化芸術の推進・文化芸術ビジョン(岡山市役所 議会棟)> 15:00 終了 15:58 岡山駅発(JR新幹線のぞみ36号・東京行) 16:43 新大阪着 17:05 新大阪発(伊丹空港線リムジンバス・伊丹空港北ターミナル行) 17:30 伊丹空港着 19:20 伊丹空港発(ANA1663便・新潟行) 20:25 新潟空港着、解散

視 察 (出 張) 報 告 書

令和4年 8月 15日

新潟市議会議長 様

氏 名 小山 進

下記のとおり、視察(出張)が終了したので報告します。

	代表者	経 理 責任者	
視 察 議 員	佐藤 誠 議員、小山 進 議員、松下和子 議員、志賀泰雄 議員		
期 間	令和 4年 8月 8日 (月)～令和 4年 8月 10日 (水)		
視 察 先	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県神戸市 ・徳島県名西郡神山町 ・岡山県岡山市 		
視 察 用 務	<ul style="list-style-type: none"> ① 三宮駅周辺地区の再整備事業(神戸市) ② 創造的過疎レクチャーとサテライトオフィスツアー (神山町・NPO グリーンバレー) ③ 文化芸術の推進・文化芸術ビジョン(岡山市) 		
視察先面会者	<ul style="list-style-type: none"> ○神戸市都心再整備本部 都心三宮再整備担当 部長 原田 充 氏 都心再整備部 都心三宮再整備課 調整係 係長 村上 一徳 氏 上野 周平 氏 ○認定特定非営利活動法人グリーンバレー 事務局長 氏 ○岡山市 市民生活局 スポーツ文化部 文化振興課 課長補佐 谷川 利広 氏 		
概要及び所見	別紙		

○「三宮駅周辺地区の再整備事業」(兵庫県神戸市)

日 時：令和4年8月8日

視察先：神戸市役所 都心三宮再整備課

神戸市中央区御幸通6-1-12 三宮ビル東館6F

対応者：神戸市都心再整備本部 都心三宮再整備担当 部長 原田 充 氏

神戸市都心再整備本部 都心再整備部 都心三宮再整備課

調整係 係長 村上 一徳 氏

神戸市都心再整備本部 都心再整備部 都心三宮再整備課

調整係 上野 周平 氏

1、取り組みの経緯と概要

1995年に起きた阪神・淡路大震災によって神戸市は甚大な被害を被った。震災後の10年間は震災からの復興に明け暮れていたようで、2007年度の実質公債費比率は17~18%、将来負担比率は170%ほどであった。ようやく借金が減ってきており、2020年度の実質公債費比率は4.3%、将来負担比率は61.6%にまで落ち着いてきた。

一方で、人口については、2015年の国勢調査では153万7千人であったが、令和元年5月には152万4千人と減少しており、2015年に福岡市、令和元年には川崎市にも抜かれ、人口規模で全国7位に転落をした。人口減少の右肩下がり傾向に歯止めが掛からず、危機感を抱いている中で今後のまちづくりをどうするか検討をした。

そのような中、2015年9月「神戸の都市の未来の姿(将来ビジョン)」を策定した。これは、神戸市の将来の姿を市民に共有していただくもので、夢のあるワクワクするものを示したものである。その将来ビジョンのもと、神戸市の玄関口である三宮駅周辺地区をどのような空間にするか、どう利用していくかを具体的に示した「三宮周辺地区の再整備基本構想」を2015年9月に策定した。

① 三宮周辺地区の再整備基本構想

三宮周辺地区の再整備は、神戸全体のまちや経済を活性化し、国際競争力を高める上で不可欠との考えのもと、民間活力の導入を図りながら、魅力的で風格ある都市空間の実現を目指している。

・コンセプト：「駅を出た瞬間に訪れた人々が自然とまちへ誘われる、美しき港町・神戸の玄関口」を掲げている。最も力を入れていることとしては、広く豊かな屋外空間を沿道建築物と一体となって整備することで、あまり境界を設けることなく一体となった整備を目指している。

・構想の対象エリア：三宮駅を中心とした半径500メートル程度の範囲。

2、これまでの主な成果など

三宮周辺地区の課題としては、

「乗り換え動線が分かりにくい」、「駅から周辺のまちへのつながりが弱い」、「広場など人のための空間が少ない」、「神戸経済を先導する機能集積が十分でない」、「駅前広場の交通結節機能が弱い」、「玄関口にふさわしい特色ある景観がない」、「建物老朽化が進行、小規模建物が密集」などがあつた。

これらの課題解決に向け、まず、「三宮駅周辺エリア」については、2021年9月に神戸三宮阪急ビルが完成した。それに伴い、歩行者中心の空間の再整備として、車道と歩道を一体的に活用できる歩行者空間「ほこみち」を「サンキタ通り」に整備した。

駅前広場「さんきたアモーレ広場」はもともと不法駐輪や無許可での露店出店などネガティブなイメージが付いた場所であつた。ビル完成に合わせ、先進的なデザインの広場に再整備し、賑わいの創出に活用を進めている。具体的には、色々なことをしてもらうために使い方の提案を求め、社会実験を繰り返しながら、適正利用のルール作りに取り組んでいる。

新たな交通結節点として、中・長距離バスターミナル整備を計画している。これまで三宮駅周辺に点在していた約1,700便を新たなバスターミナルに集約し、乗り換えの不便さを解消していく。また、バスターミナルが入る再開発ビルは、屋上庭園を整備し、民間のホテル、図書館やホールなどの行政施設も入る予定で、2027年度頃完成予定である。

JR三ノ宮新駅ビルの開発も進めており、神戸市、JR西日本、独立行政法人都市再生機構の三社による協定が締結されている。新駅ビルは、商業施設、オフィス、ホテルが入居する予定で、三宮クロススクエアというデッキを整備する計画。これは、現在10車線の道路のうち、最終的には7車線をつぶし、1階は広い歩行者空間と将来的には「ほこみち」にしたいとの考え。

神戸市役所本庁舎2号館の再整備も進めており、官民連携の複合施設を現在の1号館脇に2027年頃の完成を目指し計画が進められている。

3、評価と主な課題、今後の展開について

神戸三宮阪急ビルが完成し、事業が始まったばかりであるため評価は難しいとの事だが、このビルの前に整備した広場を含めた「サンキタエリア」が今後の将来を占う取組との認識であつた。実際にインターネット大手のヤフーによる人流調査で、通行人数、属性を観測しているが、来訪者が激増している。特に、若い人が男女を問わず来ているようで、この効果が面的に広がることを期待している。また、民間と行政のタッグによって効果が上がっているとの評価をもらっているそうである。

経済効果としては、公共1000億円、民間6000億円の計7400億円の投資に対し1.1兆円という投資額の約1.5倍の経済効果が上がるとの試算も示されているそうである。

一方、三宮駅を中心とした中心市街地と周辺部との開発バランスについても配慮してお

り、オール神戸市として郊外部の開発もどうしていくのか考え、力を入れている。例えば、地下鉄の終点や各区の拠点駅の開発、各区の拠点とセットでの駅前リノベーションなどを行っている。

さんきたアモーレ広場の賑わい創出に向け、使用ルールや運営を地権者、アーティストなどで構成する「サンキタ市民の会」という実行委員会が担っている。使用料徴収などでエリア全体の運営を賄ってもらおう考えであるが、やはり資金面の課題があるとの事。今後、大型ビジョンを設置するが、広告目的の設置ではないため、上手く活用することが期待されている。

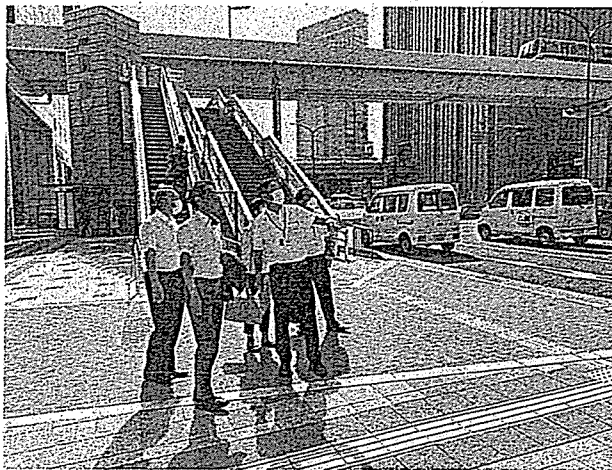
また課題として、民間事業者の投資意欲を喚起させるには行政だけでは難しい面がある。新たな駅ビルが建設されることで、従来営業をしていた在来店への波及効果が生まれて来なければいけないが、地権者と在来店との協議体がまだ存在していない。この整備も行っていきたいそうである。

昨今の建築費や人件費高騰もこれからのプロジェクトを円滑に進める上では大きな懸念材料との事であった。

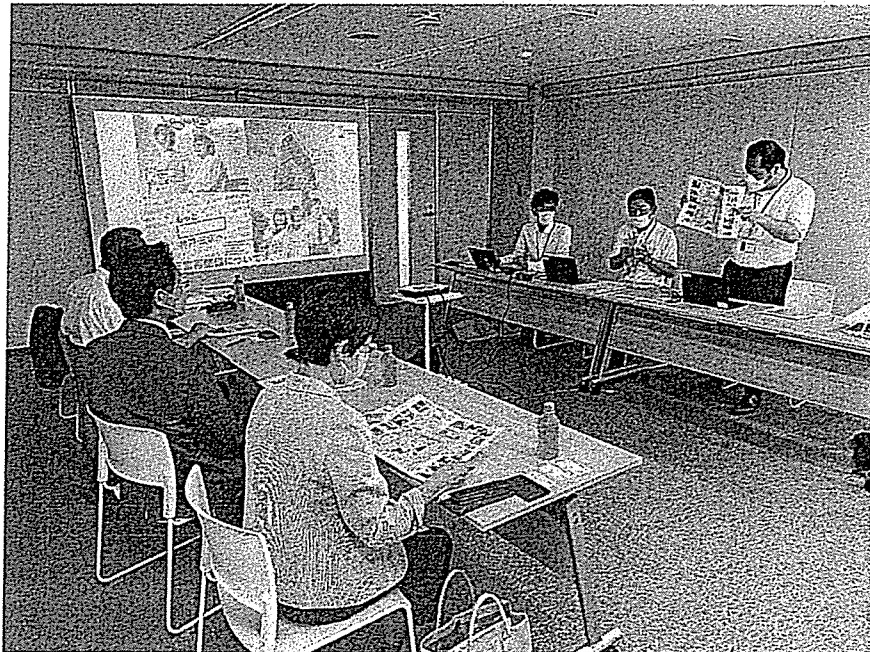
所見

新潟市と神戸市は同じ開港5港として歴史的な共通点がある中、現在では人口規模、都市規模で大きな隔りがあるが、人口減少局面の中、同じ課題を抱えていることが分かった。神戸市では民間力が弱まり、経済体力も落ちてきており、また人口も右肩下がりで減少している。そのような中で都市の魅力を高め、民間投資を誘発する開発事業が都市間競争の生き残りに繋がるものと考え、取り組んでいる点では新潟市と重なる部分が多い。実際に、都市再生緊急整備地域に指定をされ、有利なメニューを活用しながら開発促進に取り組んでいる。ただ、新潟市と異なる点は、新潟市が「にいがた2km」という都心軸を中心に指定していることに対し、神戸市では三宮駅を中心におよそ半径50メートルのエリアになっており、線と面の違いがある。来訪者の回遊性を考えた場合、面の取組の方が行いやすいように思う。神戸市の取組を視察する中、新潟市では一段の工夫が求められると考える。

来訪者の回遊性にもつながる賑わい創出での取り組みとして、「さんきたアモーレ広場」の取り組みは特に参考になった。行政が許認可権を持つと柔軟性やスピード感到に欠けるが、神戸市では実行委員会形式で取り組みを進めており、そのスタンスは規制を



極力なくそうという点である。その為に、社会実験を積極的に行い、トライ&エラーに果敢に挑戦している。新潟市でも古町ルフルの指定管理、万代地区の公園での社会実験など取り組んでいるが、さらに積極的な後押しが必要と感じる。息の長い粘り強い取り組みが必要ではあるが、仕掛ける時を見逃すことなく果敢に挑戦していただきたいと思う。



○「創造的過疎レクチャーとサテライトオフィス」(徳島県神山町)

日 時：令和4年8月9日

視察先：認定特定非営利活動法人グリーンバレー

徳島県名西郡神山町神領字中津 132

対応者：認定特定非営利活動法人グリーンバレー 事務局長 ■■■■■ 氏

1、取り組みの経緯と概要

徳島県神山町は徳島市街から車で約1時間弱の人口約5000人の山間の町である。1955年に周辺の5つの村が合併し生まれたが、その際の人口は約2万人であったが、年々減り続け、現在の人口になった。人口減少の傾向は今でも続いているが、この10年間で多様なスキルを持った若者が続々と移住をしている。

神山町の地域活性化は一朝一夕で出来たわけではなく、10年、20年、30年の積み重ねで出来たもので、その積み重ねは1991年に遡る。アメリカから日本に贈られた12,739体の友好親善人形の内の1体が神山町の小学校に保管されており、その持ち主を探しあてて、里帰りをさせる取り組みを行った。この取り組みの中心人物が訪問したNPOグリーンバレーの前理事長であった。この取り組みが切っ掛けとなり、神山町国際交流協会が誕生し、ALTの受け入れなどの国際交流活動を始めた。

1997年に、とくしま国際文化村プロジェクトが徳島県で始まった。国際交流センターを造ろうとした所謂ハコモノ事業であったが、グリーンバレーは県に文化村プロジェクトを提案した。これにより「神山アーティスト・イン・レジデンス」という移住に繋がる最初の取り組みが始まった。

「神山アーティスト・イン・レジデンス」とは、神山町の自然を使った野外作品を海外の芸術家に作成してもらい、ソフト先行の事業である。海外の芸術家が神山町に滞在した際に、ネガティブな意見をもらう事が多かった。その不満を逆手に取り、自然が好きの方に来てもらうPR活動を行い、日本の片田舎で住民の一員となって作品を制作したい芸術家が集まるようになった。1999年から2018年までの20年間に、23か国70名を超える芸術家が滞在し、作品を残しており、2002年頃からは芸術家の移住も始まってきた。

2005年9月に、徳島県の事業として県全体にケーブルテレビを上げようと光ファイバーが整備された。この光ファイバーを活用し、自費滞在を希望する芸術家向けに宿泊・アトリエ等のサービスの有償提供を始めた。このアートと空き家の情報サイトの利用を分析すると、空き家情報ばかりが閲覧されている事が分かり、空き家を活用した移住支援を始めることにした。

2007年から、神山町から移住支援事業を受託し、神山移住支援センターの運営を開始した。移住支援に際しては、単なる移住ではなく、町の将来にとって必要と思われる「働き手」「起業家」を逆指名する移住策を行っている。これにより、町のデザインが可能となるが、これは行政では出来ない対応と言える。

いきなり移住をするのはハードルが高い方に向け、お試して滞在できる場所「オフィスイン神山」を作った。オフィス兼住居を提供し、神山町で展開可能な職種を探ってもらった場となる。

そのような中、建築家である■■■■氏が友人でITベンチャー起業家の■■■■氏に神山町を紹介。■■■■氏はシリコンバレーのような場所にしたいと考え、「SANSAN神山ラボオフィス」というサテライトオフィスを開設。2011年にテレビニュースで発信された事により人が自発的に来てくれるようになった。人の繋がりからサテライトオフィスが生まれてきたのが神山町の地方創生の経緯である。

2、これまでの主な成果など

神山町では過疎化の現状を受け入れながら、数ではなく過疎の中身を改善する「創造的過疎」に取り組んできた。外部から若者やクリエイティブ人材を誘致することによって、人口構成の健全化を図るとともに、ICTインフラ等を活用し、多様な働き方を実現できるビジネスの場としての価値を高めることによって、農林漁業のみに頼らない、均衡のとれた持続可能な地域を目指すとしている。

そして、地方や過疎地における課題は、「雇用がなく、仕事がない」ことであるという観点から、「ワークインレジデンス」「サテライトオフィス」に取り組んできた。

「ワークインレジデンス」の取組として、サービス業への展開も進んでいる。ビストロ、ピザ屋、オーダー靴屋、総菜屋、珈琲焙煎屋などがオープン。ワークインレジデンスを活用し、地元の寄井商店街の再生も行い、新たな集積拠点として活用されている。

その他、宿泊施設「WEEK神山」というビジネス向けの宿泊施設や、「神山しずくプロジェクト」というヒノキを使ったグラス作成、「神山ビールプロジェクト」という地ビール製造なども行っている。

2015年には国の地方創生総合戦略策定をグリーンバレーが中心となって行い、「まちを将来世代につなぐプロジェクト」を開催した。自治体では地方創生総合戦略の策定を外部機関に依頼をする場合が多いが、神山町では、予算が無くなり、人が変わっても続けていける魂のあるものを策定したいと考え自前でやった。行政はグリーンバレーの応援団と認識している。

神山町創生総合戦略の1つとして、「フードハブプロジェクト」がある。これは、地産地消をテーマに、地元の小麦やお米を使った食を、住民が食べて支える仕組みを作り、神山町の農業を持続させようとするもので、若い担い手を育成している。

また、「子育て世代向け集合住宅プロジェクト」として、木造2階建て全20戸の集合住宅を整備した。建築は神山町の大工さんで、町産材を使い、熱源には木質バイオマスボイラーを使用。入居者以外にも開放されるまちのリビングや、まちの図書室も設置している。

3、評価と主な課題、今後の展開について

今後の展開として大きく掲げている事業が、「神山まるごと高専プロジェクト」である。これは、「利己的に学び、利他的に実現する」を教育方針に、IT、AI、プログラミングといった最先端技術、デザイン・アート、コンセプトメイク、心理学・哲学、論理的思考、ディベートなど幅広いカリキュラムに加え、神山町全体を学びの実践の場として活用し、起業家精神を持った人材を育てる次世代型高専を2023年4月に開校予定としている。ふるさと納税を活用した寄付を基にした学校運営を目指しており、全寮制で学費無償で学べるようにしたいとのこと。まさに、シリコンバレーを目指していると言える。

また、神山町を関係人口と地域内経済循環による地域創生モデルにしたいと考えている。働き方や働く場所の自由度を高め、地方に「高度な職」を呼び込むとともに、新たな「サービス」を生み出し、観光等との連携によって地域外から適度な外貨を取り込み、地域内経済の循環による自律的發展を図る。まさに、ヨーロッパの田舎町で行っている取り組みを神山町で実現させたいと考えている。

課題としては、中心となるNPOグリーンバレーの世代交代、また地元の人間の参画がある。神山町の取り組みの淵源は、グリーンバレーの創設者である大南氏の力が大きく、事務局長の話の端々からもそのことが伝わってきたが、国や県からの補助制度の案内、また事業の取りまとめなどはこうしたノウハウのある中心者が不可欠で、次の世代の育成がなければ継続した取り組みは進まない。

合わせて、地元の応援している方は、各種意見交換の場に参加をしてくれる70から80人の数から推計すると2%程度ではないかとの事であった。この点からも、地元の方の反応は9割が無関心のように、行政だけではなく、地元の方を巻き込む取り組みも課題との事であった。

所見

徳島県の山間部にIT企業を誘致したまちづくりに取り組む自治体との事で大変に興味深く視察が出来た。企業誘致と言えば、補助金を付け、他自治体よりも有利な条件で、まさに「来てもらう」取り組みと考えていたが、神山町の企業誘致は、民間が通常では不利となる田舎という環境を逆手に取り、この町を好きになった企業に来てもらおうとしている。まさに企業も地域も納得してまちづくりを進めていると感じた。もちろん、光ファイバーが張り巡らされているなどのプラスの面もあるが、そもそもの出発点は国際貢献と芸術家誘致であり、多様な人材が集まることでまちの可能性が広がっていったことに由来する。これまでの成果は10年、20



年、30年の積み重ねと説明されたが、まちづくりは地道に取り組むことが大切と改めて感じた。

合わせて、行政の関わりについてもお聞きをしたが、「行政は応援団」とキッパリ言われていたほど、グリーンバレーの取り組みを信頼し、後押しをしているのだと思った。ここまで信頼するには確かな実績を示していることもあるが、政治のリーダーである首長の理解もあると思う。自治体の規模にもよるが、職員数も限られた小さな自治体ではいくつかの職務を兼任することは珍しくなく、それだけに業務に集中して行うことは難しい。そのような中で民間の力を活用することは重要であるし、特に、我が事として捉える民間主導のまちづくりが地方創生成功への道と感じる。学校さえも開校させようとの情熱を持ったまちづくりを新潟市でも進めていただきたいと感じた。



○岡山市「文化芸術の推進・文化芸術ビジョン」視察報告

日 時：令和4年8月10日

視察先：岡山市役所 議会棟

岡山市北区大供1丁目1-1

対応者：岡山市 市民生活局 スポーツ文化部

文化振興課 課長補佐 谷川 利広 氏

1、取組みの経緯と概要について

岡山市は平成24年に「岡山市文化芸術振興ビジョン」を策定（対象期間：平成24年度～平成28年度）し、岡山市に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、いきいきと暮らせる豊かな文化都市を目指すことを目的として、テーマに「したしむ」「はぐくむ」「ささえる」「つなぐ」との4つの柱を設定し、市民、行政、民間、NPO、外郭団体、各文化施設などが一体となって文化振興を図ってきた。

そして、目的や基本的な考え方は維持しながら、市の文化芸術振興の現状と課題や国の新たな「文化芸術基本法」の制定を踏まえて、新たに「つくる」をテーマに加え次期振興ビジョン（対象期間：平成29年～令和3年）について改定を行う。

また、平成27年度には、岡山市第6次総合計画が策定され、「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」を基本目標とし、その中の「歴史と文化が薫り、誇りと一体感のもてるまちづくり」が基本方向の一つとなっている。この方向性を踏まえて、令和4年度に「岡山市文化芸術基本条例」を制定し総合的かつ計画的に文化芸術の振興を推進。

地域の特色を反映した文化芸術振興策が重要な都市戦略として機能し、総合計画の将来都市像を市民が体感できるようになることを目指して、新たに「岡山市文化芸術振興計画」を策定。

2、これまでの主な成果や評価

ビジョンの効果指標

したしむ 市民が気軽に文化芸術に親しめる岡山市

過去1年に文化芸術イベントの鑑賞・参加した市民の割合 45.2%⇒60.0%

はぐくむ 文化芸術を担う想像力豊かな人材の育成

シンフォニーホールやシテイミュージアム、美術館の小・中学校利用人数
3,065人⇒4,000人

ささえる 文化芸術の活動環境の向上

シンフォニーホール大ホールの稼働率 70.6%⇒80.0%

市民会館の大ホールの稼働率 82.1%⇒維持

つなぐ 文化芸術を次世代へつなぎ、人と人が交流する岡山市

文化芸術で「市民同士の交流が進む」と考える市民の割合 27.0%⇒32.0%

文化芸術で「観光客が増えるなど地域経済が活性化する」と考える市民の割合
23.0%⇒26.0%

つくる 新たな魅力を想像していく岡山市
新しい文化芸術施設開館に向けたワークショップ・シンポジウム・開館プレ
事業などの開催件数 1件⇒延20件

令和2年年4月に、岡山市スポーツ・文化振興財団（公財）と岡山シンフォニーホールを
合併し、岡山文化芸術創造財団（公財）を発足。地域の文化活動の活性化、多様な文化事業
の展開とともに、次世代の文化芸術を担う人材の育成に尽力している。

3、課題について

文化芸術振興事業を展開していくうえで必要となる岡山市民の文化芸術に対する意向を
把握し、今後の文化芸術施策の効果的な実施を図ることを目的として、令和3年に市民意識
調査を実施した結果から見えてきた課題として以下があげられる。

- ・文化芸術に関わる市民等の裾野拡大、交流人口の増加
- ・文化芸術事業の企画の充実や相互連携、地域への浸透と発信力の強化
- ・文化芸術施設の積極的な活用
- ・文化芸術による観光や国内外との交流の促進と都市ブランドの向上
- ・さらなる文化芸術の担い手（個人・団体）の育成
- ・歴史・文化資源、地域資源の保存、継承と情報発信

4、新たな展開、今後の取組み

本年4月に施行された「岡山市文化芸術基本条例」により、岡山市文化芸術推進計画を策
定していく。その策定にあたっては、推進会議を設置し進めていく。

今までの5つの基本方針に、新たにみせる（多彩な文化芸術を鑑賞する機会の充実）、つど
う（様々な価値観の相互理解と交流の促進）の2つを加えた事業の実施。

今後の文化芸術活動の拠点の一つとなる新たな文化芸術施設として岡山芸術創造劇場ハ
レノワを整備中（2023年9月にオープン予定）本年はダンスで街を楽しもう！とプレイ
イベントを開催。

また、連携中枢都市圏との連携で稼働率の向上など、さらなる展開を目指す。

所見

遺跡、桃太郎伝説、岡山城など歴史文化も数多くある岡山市。この文化芸術を守り発展さ
せるために条例を定め、そこに市民の役割を明記したことはすばらしい事と考える。

本市も、新潟市文化創造交流都市ビジョンを平成29年に策定し、概ね5年の計画期間と
なっている。次期計画の策定は未定となっているが、これからの本市の文化芸術をさらに高

めるためにも次への計画が必要である。

また、岡山市には、平成3年に開館となった岡山シンフォニーホールを活動の拠点とする岡山発のプロオーケストラとして岡山フィルハーモニック管弦楽団（平成4年設立）があり、国、県、市、経済界などの支援により活動を展開している。2013年からは公益財団法人の認可を取得し、岡山独自の音楽スタイルをもち「おらがまちのオーケストラ」として、市民に愛され岡山のブランド力向上に努めている。設立以来、市としても毎年補助金を出し活動の支援をしている。現在は3,600万の補助を行っている。市としてこれだけの予算を30年以上行っていることに文化芸術にかけの思いを感じる。文化芸術の灯は一度消えたらそれを復活させるのは長い時間を要するため、継続が本当に大事になってくる。

新潟市にもりゅーとびあというすばらしいホールがあり、そこには日本初の公共劇場専属舞踊団としてNoizmが活動をしている。本市にもプロを目指す演奏家はたくさんいて、ジュニアオーケストラの育成にも力を入れている。プロを目指す若者が新潟に戻ってきて演奏活動が続けられるよう、プロのオーケストラがあれば、Noizmとともに音楽と舞踊という二つの大きな文化が開くのではないかと思う。

やはり、市をあげてもっと文化芸術にお金をかけ文化創造都市として、岡山市のように本市のブランド力向上に努めていくべきではないかと思う。

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年8月9日		
支出年月日	令和4年8月8日		
支 出 金 額	12,240 円		
支 出 先	神姫バス(株)		
使 途 内 容	高速神姫バス・ハーバーライナー代		
備 考	神戸三宮駅～徳島駅前 1人3060円 4人分12240円		
領収書貼付欄		(調査研究費)	

No 40563		2022年8月8日
<h2 style="text-decoration: underline;">領 収 書</h2>		
<u>新潟市公明党 殿</u>		
金額	<small>百 千 百 万 千 百 十 円</small> ¥ 12240	収 入 印 紙
但し 乗車券代		
上記金額正に受領致しました		
<h3>神姫バス株式会社</h3>		
		係 印

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年8月8日		
支出年月日	令和4年8月8日		
支 出 金 額	3,240 円		
支 出 先	新潟空港ビルディング(株) アカシア		
使 途 内 容	視察先お土産代		
備 考	行政視察 神戸市1080円 特定NPO法人グリーンバレー(神山町)1080円 岡山市1080円		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

領 収 証

新 潟 市 公 明 党 様 No. 40332

金額	¥ 3 2 4 0	取 入
内 訳	但 御 工 産 代 と し 3 個	印 紙
現 金	4 年 8 月 8 日 上 記 正 に 領 収 いた し ま し た	
小 切 手		
手 形		

新 潟 空 港 ビ ル デ ィ ン グ (株) ア カ シ ア 株 式 会 社

新 潟 市 東 区 松 浜 町 3 7 1 0 番 地 ☎ (0 2 5) 2 7 9 2 0 3 8

消費税額等(%) 〒 9 5 1 - 3 9 0

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	4
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年8月9日		
支出年月日	令和4年8月9日		
支 出 金 額	24,750 円		
支 出 先	特定NPO法人 グリーンバレー		
使 途 内 容	徳島県名西郡神山町 行政視察研修費		
備 考			
領収書貼付欄	(調査研究費)		

領 収 証

新潟市公明党

様

No. _____

★ ￥24,750

但 行政視察研修費として

2022年8月9日 上記正に領収いたしました

収 入 印 紙	内訳	税率	金額(税抜税込)
		%	消費税額等
		税率	金額(税抜税込)
		%	消費税額等

〒771-3310 徳島県名西郡神山町神領字中山 162番地

特定非営利活動法人 グリーンバレー

理事長 中山 竜一


※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	5
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年8月9日		
支出年月日	令和4年8月9日		
支 出 金 額	499 円		
支 出 先	徳島石油(株)		
使 途 内 容	レンタカー ガソリン代		
備 考	徳島駅前～徳島県名西郡神山町 往復代		

領収書貼付欄

(調査研究費)



apollostation
徳島石油(株)
徳島県徳島市
仲之町3-1-5
TEL:088-622-9673 SS:24150-95062

2022/08/09(火) 16:52 伝票No.3228
取引随番 0607

現金引当
現金引当

現金引当 様
530-95062-0000-0005 * 24150
現金引当

012000	1093	レギュラーガソリン 外08	¥454
		数量	2.92L
		単価	@155.44
		(内)ガソリン税	@53.8 ¥157)
小計		消費税 (対象)	¥454
			¥45
合計			¥499

係員: [REDACTED] 4:0000000-0:0000000 02
 処理日付: 2022/08/09 1093-1093
 100取付
 上記にて領収書に替えさせていただきます

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。


備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	6
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年8月10日		
支出年月日	令和4年8月10日		
支 出 金 額	480 円		
支 出 先	岡山電気軌道(株)		
使 途 内 容	岡電バス代		
備 考	岡山駅～山陽新聞社前 1人120円 4人分480円		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支 払 証 明 書


金 額	480円
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費
内 容	岡電バス 代 岡山駅～山陽新聞社前
支払年月日	令和 4年 8月 10日
支払先住所	岡山県岡山市中区徳吉町2丁目8番22号
支払先名称	岡山電気軌道(株)
<p>上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。</p> <p>令和 4年 8月 15日</p> <p>会 派 名 新潟市公明党</p> <p>代 表 者 名 小山 進  印</p>	

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	7
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年8月10日		
支出年月日	令和4年8月10日		
支 出 金 額	480 円		
支 出 先	岡山電気軌道(株)		
使 途 内 容	岡電バス代		
備 考	山陽新聞社前～岡山駅 1人120円 4人分480円		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支 払 証 明 書

金 額	480円
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費
内 容	岡電バス代 山陽新聞社前～岡山駅
支払年月日	令和 4年 8月 10日
支払先住所	岡山県岡山市中区徳吉町2丁目8番22号
支払先名称	岡山電気軌道(株)
<p>上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。</p> <p style="text-align: center;">令和 4年 8月 15日</p> <p style="text-align: center;">会 派 名 新潟市公明党</p> <p style="text-align: center;">代 表 者 名 小山 進  印</p>	

支出伝票

会 派 名	新潟市公明党		
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	8
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年8月8日 から 令和4年8月10日		
支出年月日	令和4年8月26日		
支出金額	281,815 円		
支出先	共立観光(株)新潟支店		
使 途 内 容	行政視察(神戸市・徳島県名西郡神山町・岡山市)・交通費・宿泊費等		
備 考	281540+275(振込手数料)=281815		

領収書貼付欄 (調査研究費)

お取引明細票

お取引日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容		
04-08-26	281	26	N				136	振込		
万円	千円	百円	円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	
								お取引金額	振込手数料	お取引後元帳残高
								¥281,540	¥275	

ご案内 * お振込明細 * 080136

お振込先 XXXXXXXXXX

ご依頼人 キョウリツカンコウ.カ ニイカ`タシテン 様 12:53

TEL025-226-3468 ニイカ`タシコウメイノウ セイム コヤマ スズメ 様

印紙税申告納付につき新潟税務署へ提出

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。
 ◎ご利用のお客様へ
 ○ご利用の日および時間により当行所定の手数料(含消費税)を手数料欄記載のとおり
 お支払いいただいております。
 ○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用額が決済日にお取引口座からお支払い
 いただきます。

◎印紙控給付の必要がない場合は
 *印で消しております。

裏面のご案内をあわせてご覧ください。

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
 備考欄には按分率等を記入してください。

請 求 書

請求書No.: 00078775-001-01

発行日: 2022年08月02日

新潟市公明党 様

ツアー名: 神戸市・神山町・岡山市 視察

出 発 日: 2022年08月08日(月)

新潟県知事登録旅行業 第2種-60号
共立観光株式会社

〒950-0001

新潟市中央区明石2-3-35 エロンブリッジ1F

TEL: 025-246-2331

025-241-9464

支 店 長:

担 当 者:

このたびは弊社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。下記料金のご請求を申し上げますのでよろしくお願い致します。

合 計	お預り金額	ご請求金額
281,540円	0円	281,540円

No.	項 目	単価	数量	金額	備 考
1	飛行機+2泊(神戸・徳島)	56,050	4	224,200	
2	JR代金(徳島~新大阪)	11,380	4	45,520	
3	連絡バス代(新大阪~伊丹)	510	4	2,040	
4	レンタカー代(8/9利用)	7,580	1	7,580	
5	発券手数料	550	4	2,200	

備考 お振込み手数料は、お客様ご負担にてお願い致します。

お振込先

口座名義 共立観光株式会社 新潟支店

2022年08月31日(水)までにお振込み下さるようお願い申し上げます。

PAGE 1 / 1

支出伝票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	9
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年4月1日 から 令和5年2月28日		
支出年月日	令和5年3月16日		
支 出 金 額	1,317 円		
支 出 先	議会事務局総務課		
使 途 内 容	コピー機使用料		
備 考	2,634 円 × 1/2 = 1,317 円		

領収書貼付欄

(調査研究費)

新潟県新潟市 納入通知書 兼 領収証書

〒
新潟市公明党 様

年 度	4	担当課 議会事務局総務課	調定番号 1117082 <00128351>
会 計	005	一般会計	
款	25	諸収入	
項	05	雑収入	
目	03	雑収入	
事業			
収入科目	11	議会費雑入	
節	10	<議会事務局>議会費雑入	
細節	10	<議会事務局>その他雑入	
細々節			
摘要	コピー機使用料 (令和4年4月~令和5年2月分)		

納付金額 2,634 円

納 期 限 2023年(令和 5年) 3月23日

領 収 日 付 印



(納入者保管)

上記の金額を納期限までに納入してください。
2023年(令和 5年) 3月13日

新潟市長 

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会 派 名	新潟市公明党		
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	10
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年3月1日 から 令和5年3月31日		
支出年月日	令和5年4月20日		
支出金額	217 円		
支出先	議会事務局総務課		
使 途 内 容	コピー機使用料		
備 考	435 円 × 1/2 = 217 円		

領収書貼付欄

(調査研究費)

新潟県新潟市 納入通知書 兼 領収証書

〒
新潟市公明党 様

年度	4	担当課 議会事務局総務課	調定番号 1124323 <00137408>
会計	005	一般会計	
款	25	諸収入	
項	05	雑収入	
目	03	雑収入	
事業	11 議会費雑入		
節	10 <議会事務局>議会費雑入		
細節	10 <議会事務局>その他雑入		
細々節	コピー機使用料令和5年3月分)		
摘要			

納付金額 435 円

納期限 2023年(令和 5年) 4月27日

領収日付印

2
出 納
5,420
第四北越
新潟市役所

(納入者保管)

上記の金額を納期限までに納入してください。
2023年(令和 5年) 4月17日

新潟市長

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

